

事業所名 NTTグループ ケアポート岡山
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成20年12月12日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A:現職 通所介護管理者
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員、福祉住環境コーディネーター、音楽療法士、ホームヘルパー養成講座講師、生活相談員
B:現職 訪問看護師
資格・経験 看護師(37年)、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 「入居者と家族、及び介護する職員が同じ目線」を原点とし、創造のこころ(精神)をもって共に心地よく、心が安らぐような快適な生活環境作りをめざしている。 職員の倫理要綱を策定し、個人の尊厳と人権擁護に基づく倫理観の共有と、専門的な知識や技術によって入居者一人ひとりの思う自己実現と福祉の向上をめざしている。 入居者一人ひとりを尊重し、それぞれの個性を大切に伸ばし伸ばしと生活してもらい、長生きして良かったと思ってもらえるように支援している。また、最後のステージまで一緒に過ごし、ここを選んで良かったと思ってもらえるホームをめざしている。 家庭的な雰囲気の中で落ち着いた生活が送れるように支援し、入居者の沢山の笑顔が溢れるホームをめざしている。 その人の「今」を大切に、一人ひとりに心を向け、楽しいと思える毎日を支援していく。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 家族から、入居者のこれまでの生活歴や生活振りを聞き、その人に一番心地よく感じるもの、穏やかに過ごせるものを探し出すようにしている。その中から、一人ひとりに合わせた活動の時間を作るようにしており、そのことは、入居者の生き生きとした表情や自信にもつながっている。 職員間の強い信頼関係のもと、「入居者・家族と職員が共に支えあって創っていく」という理念を現場で実践している。 職員と入居者がじっくりと関われるように職員を配置しており、職員の動きにもゆとりを感じる。また、月の担当を決め、入居者にしてあげたいことを計画し、ドライブに出かけたり催しや外食に出かけたりなど、気分転換を図り、張り合いや潤いのある生活の場の提供に取り組んでいる。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- 岡山市東部の住宅街の一角にホームはある。ホームのある隣地区は、昔は草の産地であったが、今は新興住宅地が多くなり、幹線道路付近にはスーパーや郵便局、銀行などもあり、生活しやすい環境である。
- 医療面でも充実しており、主治医である内科医には、薬のことや痛みについての研修講師もお願ひするなど結びつきも深い。今後、重度化した場合や着取りのことなども含め、医療面での充実は、入居者・家族にとっても安心が得られる。また、訪問看護ステーションと契約し、週1回、定期的に検診及び健康診断を受けるなど医療連携体制を導入しており、訪問看護や複数の医療機関との協力体制のもと、入居者・家族が共に安心して暮らせるホームとなっている。
- フリーダイヤルを設置し、電話での問い合わせや相談などに気軽に応じている。施設長及び管理者の努力や地域性も手強い、地域に開かれたホーム作りは着々と進んでおり、地域との交流も盛んに行われている。
- 施設長や管理者の、「長生きしてよかったと入居者の明るい笑顔がたくさんいただけるような介護を目指す」というホーム作りへの強い想いがあり、職員の和づくりや研修への取り組み、ゆとりのある職員配置、入居者や家族、職員同士の信頼関係づくり、法人のOBや現職の方の協力、地域の方の理解等々、「人の輪」の広がりをとても大切にしており、成果を上げている。

特に改善の余地が有るとと思われる点(記述)
特に改善という点はないが、今までの生活歴なども考慮し、1階のテラスや玄関前など広い敷地を利用し、豊富なボランティアの協力も得ながら土に触れる機会を多く作ってみたいと思う。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> プライバシーや人権についてのマニュアルはもちろん、個人情報の活用や共有についての勉強会を行っている。個人ファイルの保管方法や持ち出しについても、プライバシー保護の観点に留意して取扱っている。 入居者一人ひとりを大切にしたいという思いから、入居者それぞれの生活歴の中から、好きな事ややりたい事を探し出し、自分から意欲的に取り組み、満足感を味わえるように支援している。ボランティアの訪問も多く、入居者とマンツーマンで関わることで、以前出来ていたことを思い出したり、潜在的なことが掘り起こされて達成感を持てるようになり、ホームでの生き生きとした暮らしへとつながっている。 ゴミ出しや洗濯物の片付け、テラスでの野菜や花の栽培、水遣り、買い物といった日常生活の中で無理なく出来ることをしてもらっている。また、四季折々の行事や慣わしについて教えてもらう等、人生の先達として尊敬の念を持って入居者と接している。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生や契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<ul style="list-style-type: none"> 職員研修への取り組みが充実している。外部での様々な研修へも参加しており、近くのふれあい公社で行われるスキルアップ講座には勤務内で参加できるため、数多くの職員が参加している。また、月1回、講師を招いて内部研修も実施しており、職員のモチベーションを高め、ケアサービスの質の向上に取り組んでいる。 ケアプランの中の最優先支援項目について毎日チェックし、月に1回評価している。入居者への援助内容や目標が明確になり、入居者との関わりが密になることでホームでの生き生きとした生活へとつながっている。 感染対策への取り組みとして、マニュアルに沿って下痢や風邪症状などの有無や爪や傷の点検、手洗い場のチェック点検を行い、感染を未然に防ぐよう取り組んでおり、職員の衛生面への意識も高まっている。 法人のOBの方が、掃除や庭仕事、各種演奏や趣味等ボランティアとして幅広く活動されている。また、現役の方へはバザーへの出品を依頼するなど、人とのつながりもホームの力となっている。 		